

平成 24 年 11 月 21 日

(2012 年)

図書館協議会資料

吹田市立中央図書館

## 吹田市の学校図書館の現状について

### 《読書活動支援者について》

(1) 2002 年度～2004 年度は国の交付金を活用して、1 校専任、2 校兼任、勤務時間など様々に試行し、2005 年度から吹田市の独自予算で配置されている。

(2) 現在の勤務形態

小学校 34 小学校に 17 人の読書活動支援者（2 校兼務。隔週勤務）

千里たけみ小・竹見台中学校兼務の 1 人

中学校 15 中学校に 5 人の読書活動支援者（3 校兼務。3 週に 1 回勤務）

2 中学校に 1 人の読書活動支援者（2 校兼務。隔週勤務）

人数 合計 24 人

勤務時間 1 日 4 時間。10:30～15:00（昼食時間 30 分を含む）。週 5 日 20 時間。

期間 5 月 28 日（月）～2 月 28 日（木）（夏休み・冬休みは除く）

資格 司書または司書教諭の免許を持つ人。または同等の知識や技能を持つ人。

待遇 アルバイト待遇（賃金は、一般臨時職員と同額の 1 時間 946 円）

(3) 研修 最初に教育委員会から勤務条件やおおまかな仕事内容の説明があり、コンピュータの簡単な使い方の研修がある。教師向けの図書関連の研修には参加可能。

(4) 勤務内容 各校長にまかされているため各校ばらばら。

### 《図書購入費について》

(1) 2012 年度予算

小学校 13,836,000 円（昨年度より 92 万円減額） 1 校当たり 395,314 円

中学校 9,484,000 円（昨年度より 38 万円減額） 1 校当たり 557,882 円

※2011 年度には、「住民生活に光をそそぐ交付金」が小学校 9 校、中学校 4 校に配分された。

(2) 学校図書館図書標準達成率（文部科学省が定める学校規模に応じた蔵書の整備目標）

小学校 79.7%、 中学校 80.7%（2009 年度）

平成 23 年度 100%達成した学校の割合（吹田） 小学校 4 校 11%、 中学校 1 校 6%

平成 23 年度 100%達成した学校の割合（全国） 小学校 50.6% 中学校 42.7%

### 《図書室について》

(1) 小学校では、低学年図書室と高学年図書室に分かれている学校が多い。一方の図書室

にしかコンピュータを置いていないため貸出も不便であり、いろいろな本に出会えるように分けずに2教室合わせた1つの図書室が望ましいのではないかと考えます。

- (2) 開室時間については、常時開室ではなく読書活動支援者のいる週のみ開館している学校もあり、児童には使いにくい開館時間となっている場合もあるのではないかと思います。

#### 《電算化》

2009年度、学校間のネットワーク化が実現。

#### 《整理方法の統一》

請求記号や配架の仕方など各校不統一であり、ネットワークの意味が発揮されない。また、受け入れ順に本を並べている学校もあり、本が探せないような事もあるようです。

#### 《問題点》

物流がないのが全ての活動に影響をしていると考えられます。